

林産試ニュース

■北海道森づくり研究成果発表会を開催しました

4月19日（木）かでの2・7（札幌市）で開催しました「平成30年北海道森づくり研究成果発表会」において、林産試験場からは口頭・ポスターあわせて15件の発表を行いました。全体の参加者は451名で、口頭、ポスター発表ともに今後の研究につながる質問・意見交換が活発になされ、実りの多い発表会となりました。

なお、それぞれの発表の内容については、今月号より3号連続で特集を行いますので、ぜひお読みください。



【平成30年研究成果発表会(口頭発表)の様子】

■木路歩来(コロポックル)をオープンしました

冬季休館していた試験場併設のログハウス「木路歩来(コロポックル)」を4月21日（土）に開館しました（期間は10月31日（水）まで）。10月14日（日）までの休館日はお盆の3日間（8月13～8月15日）の予定ですが、臨時に休館する際はホームページなどで随時お知らせします。10月15日～10月31日は毎土・日が休館となります。開館時間は9:00～17:00です。

<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/sugata/koropokkuru.htm>



【木路歩来(コロポックル)内部】

林産試だより

2018年5月号

編集人 林産試験場
HP・Web版林産試だより編集委員会
発行人 林産試験場
URL : <http://www.hro.or.jp/fpri.html>

■第19回日本木材学会技術賞を受賞しました

当場利用部微生物G主査 佐藤真由美、同G研究主幹 米山彰造、北海道情報大学 西平順副学長の研究グループが第19回（2017年度）日本木材学会技術賞を受賞しました。木材学会技術賞は、木材およびその関連物質に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行った個人またはグループに授与されるものです。今回の受賞では、『マイタケ「大雪華の舞1号」の開発とその機能性に関する研究開発』の業績が評価されたもので、低コスト化につながる品種開発・栽培技術を確立するとともに、その健康機能性を明らかにしました。

授与式および受賞講演が第68回日本木材学会京都大会期間中の平成30年3月15日（木）に行われました。

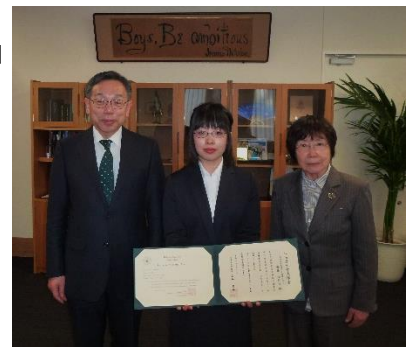


【授与式の様子】

■北海道大学大塚賞を受賞しました

当場利用部微生物G研究職員 齋藤沙弥佳が平成29年度 北海道大学大塚賞を受賞しました。北海道大学大塚賞は、北海道大学における男女参画事業の一環として平成17年に設けられ、研究者を目指す優秀な女子博士課程修了者に授与されるものです。今回の受賞では、「細胞競合による変異細胞の上皮頂端側排除におけるエンドサイトーシス経路の研究」における博士論文および国際学術誌への論文掲載等の業績が評価されました。

授与式および受賞講演が平成30年3月20日（火）に行われました。



【受賞記念写真】

平成30年5月1日 発行
連絡先 企業支援部普及連携グループ
071-0198 北海道旭川市西神楽1線10号
電話 0166-75-4233 (代)
FAX 0166-75-3621